

突然ですが、書籍の紹介。

「書を知る3」三栄書房。
書道にかぎらず、「書」にまつわる様々な世界を、初心者にもわかりやすくご紹介。

一体何ごとか?いきなり何?

こちらの書籍、以前Pingplan通信でご紹介させていただきました。書道家「鈴木啓義」先生のインタビューがのっております!

で、藤野もインタビューの現場に初参戦。
「どんな段取りなんだろ?何を聞くだらろ?」と、少し緊張しながら現場へ。

インタビューは鈴木先生の仕事場で行われました。
その日はライターさん、編集さん、カメラさんの3人での取材。

「今日はよろしくお願ひします。では、早速カメラを用意させていただきますね。」
カチャカチャカチャカチャカチャ!スルスルスルスル---



て、手際いいなあ…ものすごいスピードでスタンバイ完了。
ウーン、本格的すぎてこっちが緊張してきた…。

その後、ライターさんが鈴木先生に流れるように質問。
「…なるほど、初心者に向けて、書に対する心構えとかアドバイス等ありますか?」
て、手際いいなあ…。

約2時間程でインタビューは終了。
ちょっと空気が落ち着いた頃、コップを両手に笑顔の鈴木先生が台所から登場。
取材メンバーとみんなで体が暖くなる不思議なお水をいただきました。

書のプロ、ライティングのプロ、カメラのプロ、編集のプロ、と各プロフェッショナルの仕事を見られた、楽しいひとときでした。

そして、藤野はWebのプロとして、鈴木啓義先生のウェブサイト制作しております。
こちら、様々な篆刻やコラム等を掲載しております。
不定期ですが、メルマガも始めますのでみなさま、ぜひぜひ登録ください!

書の世界へようこそ! ——— <http://keigisuzuki.com/>

Pingplan
News
vol.13

ピンプラン通信

2015年
6月号

チャオ! さよです

Sayo Hashimoto

入社して気づいたら1年経っていました。某夢の国での勤務が長かったもので、WEBメインのお仕事というのは初めてで日々勉強の毎日ですが、少しずつ慣れてきたかなあとと思います。今回はその「ちょっと慣れてきたかなあ」に関するお話です。

つい先日、「サイトに表示している Google カレンダーに祝日の表記がないので入れてほしい」というご要望をいただいて、あーどうやるんだっけな…あれ?もしかしてこれ何かファイルをダウンロードしてCSS などで色々考えてしまっただけで結局手打ちで入れたんですが、よく考えてみたら「天下の Google 先生」のカレンダー機能にそれが無いはずがないわけで…そもそも普段使ってるやつでは表示されてるじゃないの!

結局チェックボックス1つ選択するだけで解決する問題だったんですが、少し知識がついたり慣れたりしてくると、すごく簡単なことを妙に難しく考えてしまっただけで気が付くと遠回りになっていることってありません…か?いやもちろん普段から完璧な方はそんなことないと思うんですけども。私はたまーにあるなあと思ひまして、灯台下暗しといひますか、そんな気分になった出来事でした。身についた知識をより効率よく引き出せるようになりたいものです。



初・女装をする



石井です。190cmの大柄な男子です。

石井です。190cmの大柄な男子です。過去に女装らしきことをしたのは大学の学園祭でしたでしょうか。単純に女子高生の制服を着てステージに乗るだけの「男子校らしい（※共学ですがほぼ男子でした）」余興でしたので、あれは女装のうちに入っていないと思います。

時は流れて約20年、とあるイベントの打合せの場でそれは突然決まりました。そのイベントは女装する男子が集うものだったのですが、その座談会の司会を私がやれ、と。もちろん女装ね、と。ええーっ？

まず、妻に相談します。即座に「やめておけ」と返事がきましたが、そうもいかないのでもやることにします。

最近の秋葉原では女装コスプレのための衣装を扱っているお店もあるんですね。適当に見繕って買ってみますが、妻に「これじゃない」とダメ出しを食らいます。「服だけ見れば女子っぽい、これではただの太い人だ、合うものを探せ」と。

そんなに時間があるわけではなかったので、通販でざーっと探してみます。婦人服、10Lなんてサイズがあります。

息子1歳が怖がって後ずさりしながら泣きました（笑）。

返品可なのでとりあえず取り寄せてみるかーと注文。さすがに10Lは私でも入りました。しかし10Lは丈もありませんが胴回りもありすぎて結構ダボダボ…。ドンキホーテで買ってきたカツラと合わせると、「うわー、こういうお婆ちゃんいるわー！デカイけど！」というできあがり。息子1歳が怖がって後ずさりしながら泣きました（笑）。イベント当日、会場には雑誌やテレビに登場しそうな「美しい男子（女装）」がいっぱい。私も覚悟を決めて会場に座りますが、とりあえずは「そういう人もいるいるw」というレベルではあったようです。お話をしてみると、少なくとも男女の枠を超えることで世界が広がっているようです。なるほどなあーと感心することばかりでした。常識の枠に縛られるといい思考は出てこないものですが、我々は服装の男女差についても枠に縛られていたんですね。肝心の司会については、ゲストの一人が仕切り役に入ってくれたので、私は特に必要ありませんでした。…あれ？私は何のために…



PICK UP
インタビュー

高校生になったリカちゃんに訊く、恋の思い出



最初1988-1996の彼は、女子のアイドル「立花わたる」くんだったよね？小学生なのに「カラマツツの兄弟」を愛読書に挙げるインテリさん。

「成績オール5で読書家。けど、将来の夢が「探検家」！小学生だから突拍子ないのかもしれないのはわかっている。でも、やっぱりなんか現実見えた気がして…あと、髪の毛がガッチガチに硬かったのもマイナスだよな…」
※わたるくんはなぜか植毛ではなく素体に色を塗っただけの髪の毛でした。

だから、さわやかテニス少年の「藤原マサト」くんを好きになったんだ？
1976-1981

「テニスだけじゃなくてスポーツ万能だったけど、結局憧れてただけだったな」

憧れで終わった恋だったからこそ、隣の幼馴染「佐藤イサム」くんの優しさに気づいたって感じ？ 1981-2000

「イサムくんとは十九年つきあって、一緒に高校生モデルとかウエディングモデルとかしたなあ。シアワセだったけど、でもリカ、トキメキが欲しくなっちゃって…」

そのトキメキが「滝沢駆（かける）」くん！2006-2008 三歳年上って、つきあった中では、一番年が離れてたんじゃない？

「彼ね、JニーズのTツッキーに似てて、すっごいキレイな顔してたの！もうびっくり！こんなアイドルみたいな人が普通にいるって思わなかつた！！」
※イメージモデルは、ほんとにジャニーズのタッキーです。

そのカツコイイ彼と別れて、今の2008「レン」くんときあったのはなんで？

「今まではリカ、彼を追いかけてばっかだったけど、レンくんは追いかけてくれたの。スタイリスト志望だから、モデルイベントやる時に手伝ってくれるし、やっぱり女は愛されなきゃ！」

でも二十五歳で結婚するのは、外交官のフランチ・シブレー。

※マタニティリカという、妊婦リカちゃん人形が出た時に、公式で発表されました。姿は誰も見たことは、ない。